

高尾森林ふれあい推進センター協定イベント
自然観察会（Ⅲ）実施報告
特定非営利活動法人森と人のネットワーク
泉 和弘
「秋の高尾自然観察」 H27.10.25（日）
～植物・昆虫観察、ワークショップ～

木々の色も少し色づき始めた
日影沢で15名の参加者と秋
の匂いに満ちた森で、生き物観
察やクラフト作りを行いました。



奥山栄治さん

午前中の林道での観察会は、日本野生生物研究所

の奥山栄治さんをお招
きして、昆虫など
の生き物や植
物について解
説をしていただ
きました。



林道では、ツノゼミ
の幼虫（セミ・ヨコバイの

仲間）、全身が綺麗な緑色したサトクダマキモドキ（キ
リギリスの仲間）、ウマオイ、アカスジキンカメムシの幼虫、
ザトウム（口をくっつけて交尾
するそうです）等を見つけ
ることが

できました。キャンプ場の
管理棟の壁には越冬準
備中なのかクサギカメムシが
集まっていました。



キャンプ場に着くと お昼で暖かくなったので、アサギマ
ダラやテングチョウが飛んでいました。 午前中の最後に

奥山さんが連れてきたアオダイショウ、

「触りたい人！」と声をかけ
ると、顔をしかめる大人を
よそに、子供たちは一斉
に手を挙げて、頭は
触らないように

との説明を聞
きながらこわご
わと触っていました。



午後のプログラム、ワークショッ
プとして キノコのストラップと
どんぐり等を利用したクラフト
作りを実施。

好きな色の材料を選んでグ
ルーガンで部品を接着して組
み立てていきます。

キノコストラップが完成した後、実
際にキノコを探しに観察路へ、アイトケ、ナラタケ、ポービ
リア菌に犯されたカミキリ等を観

察。最後に直径が5 c
mぐらいの白くて丸いキノ
コ（スッポンタケ）の幼菌を
見つけました。

スッポンタケの幼菌は、白いポー
ルの様で、弾力があり、中に
はゼリー状物体に包まれて
（保護されて）黒いグレバ
の傘が中に入っています。こ
のゼリーには保湿成分があり、
お肌がべすべになる事を体
験していただ
きました。



スッポンタケ（幼菌）



スッポンタケ幼菌断面（左）
スッポンタケの成菌（右）

キノコ観察から
戻った後は、ど
んぐり等を利用した
クラフト作り。どんぐりや松ぼつ
くり等を使ってストラップや飾りを作
成しました。

